

時事新報

明治十八年四月十五日
 (西曆一千八百八十五年)
 水曜日
 第九百四十三號
 日曜日休刊

公報

○内務省告示第十五號
 本年(二月)第六號告示圖表第三號路線中御影縣に住
 右告示候事
 明治十八年四月十四日 内務卿伯爵松方正義

賞勳

○明治十八年四月七日
 致動四等勳旭日小綬章

步兵大尉從四位	坊城 俊章
步兵大尉從五位	黒岩 直茂
步兵少佐從六位	徳久 元成
歩兵大尉從七位	渡邊 林吉
歩兵大尉	阿部 規方
歩兵大尉	遠山 規方
工兵大尉	近藤 正近
工兵少佐從六位	成澤 知行
歩兵少佐	新井 晴樹
歩兵大尉正七位	石井 賢吉
歩兵少佐	安藤 伸榮
歩兵少佐	谷村 正光
歩兵少佐	徳田 正光
歩兵大尉	杉生 厚義
歩兵大尉	徳田 正光
歩兵大尉	久保田 重直
歩兵大尉	岡崎 武平
歩兵大尉	今村 長實
歩兵大尉	平尾 八東
歩兵大尉	從四位 伯耆伊達 宗徳
歩兵大尉	從五位 子爵松平 忠起
歩兵大尉	從五位 從五位本多 忠康
歩兵大尉	大給近親 伊達 宗孝
歩兵大尉	上杉藤道 大久保 教義

時事報載

佛清ノ和議、支那ノ不幸

支那人ハ祖先遺傳ノ氣質ヲ於テ安リニ自カラ尊大ニス
 ルノ風アリ、自カラ尊大ニスルガ故ニ他國ノ己レロ優
 ル所アルヲ知ラズ、優ル所アルヲ知ラザルガ故ニ之レ
 一傲ハントスルノ意動カズ、乃チ支那ガ西洋近時ノ文
 化ニ適々トシテ遂ニ其自滅ヲ速クソ以テナルガ故ニ軍
 支那ノ爲メニ謀レバ一朝大ニ外國人ニ屈辱セラレ自
 其足ヲアルヲ悟リ又其體ル再々チ察シテ然レトモチ
 愛ニ始メ一新スルヲ肝要トシテ然レニ支那ハ不幸
 シテ古來自カラ其屈辱ヲ知ル程ノ大屈辱ニ達シ
 タルヲナク故ノ屈辱ノ役ノ如キ英佛聯合軍ノ迫ル所ト
 爲リ北京陥リ、清國河ニ英艦スル等因ヨリ大屈辱
 相連ナリト雖モ支那人ニ之ヲ見レバ當時長髮賊所
 在ニ清國ノ南京本既ニ其據ル所ト爲リ居ル最中ナレ
 英佛聯合軍ノ北京ヲ陥ルニハ中國兵ノ屈辱ナル
 一非ズトシテ其實則支那ノ事ヲ我ガ不運ナラシ
 タルガ故ナリト自ラ其短所ヲ辨認スルノ口實ナキニ
 非ズ左レハ威震ノ大屈辱ニ支那ヲシテ歐洲人ノ懼ル可
 キヲ知ラザルニ謀介タルヲ得アリシガ今度ノ佛清戰
 争ニ於テハ支那軍ハ百戰百敗シテ及チ迎フルノ竹ノ如
 キ北京下マテ制メテ北洋水師、蒙古兵勇孰レ
 モ佛軍ノ轍門ニ叩頭シテ佛國ノ威光ニ眩服シ北京政府
 色色ナク自カラ其及ハザルヲ知リ土地玉帛唯佛國ノ
 命ニ從ヒ始メテ然レシテ天下ノ形勢ヲ領リ上下共ニ
 始更ニ漸ク文化ノ門ニ入ルヲモテアランカト我モ信
 ヲ人モ信ヲスルニ豫想大ニ事實ニ阻礙ノ昨年八月ノ頃
 福州ノ砲臺ヲ占領スル佛軍ノ難策支那人ノ驚心
 ヲ擊シタルガ如クナレハ爾後佛軍不惰儆コシテ一舉北
 上ノ壯圖モナク津海關ヲ經過スル其原本年三月十三
 日佛兵山ノ大敗アリ佛國宰相タル要求シタル二
 億餘人ノ軍費五萬ノ出兵ヲ要求シタル代
 議院ニ於テハ斷然之ヲ拒絕シタルヲ以テ夫レハ直
 ニ其禍ヲ辭シ其後タリシとん氏等相ニ任テ新内閣ヲ
 組織スルトナリシガ其新内閣ノ意見ニテハ支那政府
 取テ昨午五月李鴻章佛國總督タルにシテ二氏ノ間
 取テ結ビタル彼ノ天津條約ヲ其債實行セシメント企
 望スルモノ、如ク佛國ニシテ天津條約ノ實行ヲ企望セ
 ントナラバ昨年五月ニ之ヲ實行セシムルヲ得ベキニ
 當時佛國ノ其意ニ懷ラザル所アリシヲ以テ昨秋以
 來幾多ノ財幣人命ヲ費シテ其目的ヲ達セント試ミナ
 ガ今日ニ至リ支那ヲシテ唯其天津條約ヲ實行セシメ
 ナ満足セント云フガ如ク佛國國權ノ圭角ハ之ヲ昨年
 比テ甚ダ茲縮シタルモノニ非ズ佛國縮スレバ支
 那ノ増長セザルヲ得ズ左レハ言ハキ去十一月上海發
 テ東京ニ達シタル電報中ニ清廷ハ上諭ヲ下シテ其大
 要ニ曰ク今佛國ノ願ニ依リ休戰ヲ允シタルコト因リ南
 境ノ諸將ヲシテ日期シテ兵ヲ休シムベキ旨ヲ李鴻
 章ヲシテ通知セシムベシ和議成ルニ至ル迄ハ佛人約
 背クノ舉動アルモ知ル可ク宜ク之ヲ注意セヨト申報
 ニ見ユ云々トアリ右ノ上諭ノ文面ト云ヘ其文氣ノ嚴
 傲ニテ自尋ノ意味ヲ露呈スルヲ一見シテ之ヲ知ル可
 キナリ斯クテ佛清ノ和議愈成ラバ支那ノ嶺山ノ大勝ヲ
 以テ佛清戰争ノ局ヲ結ビ可キガ故ニ隆興三千丈、錦山
 ノ勝ニ縁テ個ノゴトク長シトゾ申スベキ氣象ヲ現
 ハシ佛國與シキノ、其他推シテ知ル可キナリトテ
 外國ノ己レロ優ルヲ悟ラザルノミナラズ軍口益之ヲ卑
 下スルノ氣風ヲ増シテ其所長ニ倣ハントスルモノトテ
 ハナク斯クテ自尋大ノ屈辱ヲ蒙ル其自滅ノ病症ハ
 故ニ佛清戰争ノ之ヲ望ム可ク式ニ歐洲人ノ勢ノ所ト
 ナルヲ憐ラズシテ佛清戰争ノ支那ヲシテ支那軍ノ大
 一病國ニシテ幸ニ似テ不幸ナルモノト云ハ
 一病國ニシテ幸ニ似テ不幸ナルモノト云ハ

雜報

○乘組發免、御名代隨行 海軍大佐井上良馨、海軍中尉
 三浦重輝、海軍中軍醫豐蔵幸存、海軍中尉計森烈造、海
 軍少尉中村靜嘉、同高橋助一郎、全伊地知次郎の諸氏
 は去る十二日山城丸臨時乘組差免され海軍中尉失鳥功
 海軍少尉伊地知季珍の二氏と同日横濱丸臨時乘組差免
 され海軍大佐井上良馨、海軍中尉三浦重輝の両氏は二
 品彰仁親王 御名代として福岡縣下へ差遣はさるゝに
 付隨行仰付されたり

○國防會議 今般國防會議を置り左の通定めら
 れたる旨三條太政大臣より去る十日陸海軍兩省へ達し
 たりと

- 第一條 國防會議ハ之ヲ帷帳ノ中ニ置キ國地防禦ニ關
 スル利害得失ヲ審議スル所トス其項目左ノ如ク一 全
 國防線ノ計畫 二 鐵道警備所銃守府及軍港等ノ位置
 三要務據點砲臺砲臺等永久築城ニ係ルモノ、設立若ク
 ハ廢棄 四 鐵道電信道路河港ノ新設改築等國地防禦ニ
 關スル重大ノ事件 五 前諸項ノ事件ニ付發布セラル、
 法律規則ニ關シ 國防會議ニ職員ハ左ノ如ク一 議長
 一名、副議長一名、議員若クハ若干名、書記同、副書記同○第三
 條 議長ハ皇族ヲ以テ之ヲ充テ副議長及議員ハ陸海軍
 將官書記陸海軍上長官副書記陸海軍士官ヲ以テ之
 ニ充ツ○第四條 議長副議長及議員ハ特選ヲ以テ之ニ
 充テ書記ハ議長ノ奏請ニ依リ之ニ充ツ○第五條 議長
 ハ議員ヲ統率シ諸事ヲ總攝シ會議一般ノ事務ヲ總理ス
 副議長ハ議長ヲ輔佐シ其不在又ハ事故アルニ其事務ヲ
 代理ス○第六條 議員ハ議長ノ指揮ニ從ヒ議長ノ所
 事項ニ就テ其利害得失ヲ審議スルヲ任スト○第七條
 書記ハ議長ノ命ヲ受テ議事ノ記録其他事務ヲ掌理ス副
 書記ハ一般ノ庶務ヲ分掌ス○第八條 議長ハ勅命ヲ以
 テ之ヲ下付ス○第九條 議長陸軍部及海軍部ハ國地ノ
 防禦ニ關シ重要ナルト認惟スル事件ハ議長ヲ作リテ直
 ニ上奏スルコトヲ得○第十條 陸海軍其主任ノ事
 件ニ就キ此會議ニ列シ議案ノ整理ヲ擔當ス但特宜ニ依
 リ都下ノ主任官シテ之ヲ辨明セシムルコトヲ得○第
 十一條 會議ニ於テ議定セシモノハ議長ヨリ達出ス具
 へ上奏スル

○東京府區議會 二月
 芳野(五番)區(前)同
 成泰十九日開會
 午後九時開會
 し午後九時開會
 と議成し決を取り
 ふ午後九時開會
 きて清議はより
 を開き清議午後
 五時開會
 角田)は二區五
 一區とすへしと
 より開場のもの
 十議の修正に理
 宿の來項と延期
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一
 宿(中)等(同)一